

# 事業報告

## I 法人の概況

### 1 設立年月日

平成8年3月22日

### 2 定款に定める目的

本公益財団法人は、東北地方に研究開発と産業開発の国際拠点を形成し、未来型産業社会を創造することを目標とした東北インテリジェント・コスモス構想に呼応し、自然科学研究に対する助成等を行い、もって学術の振興と地域の発展に寄与することを目的としています。

### 3 定款に定める事業内容

- (1)自然科学研究に対する助成
- (2)国際的研究交流に対する助成
- (3)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

### 5 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
賛助会員	13名	-1名

### 6 主たる事務所の状況

主たる事務所：宮城県仙台市青葉区南吉成六丁目6-3 ICRビル3階

## 7 役員等に関する事項

### 理事・監事

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
理事長	西澤 潤一	非常勤	東北大学名誉教授
常務理事	齋藤 茂	常勤	事務統括
理事	植木 俊哉	非常勤	東北大学理事
理事	大滝 精一	非常勤	東北大学大学院経済研究科教授
理事	千葉 彰	非常勤	岩手県政策地域部科学 I L C 推進室長
理事	吉田 信幸	非常勤	宮城県経済商工観光部新産業振興課長
理事	今村 欣也	非常勤	仙台市経済局産学連携推進課長
理事	大通 薫	非常勤	山形県商工労働観光部工業戦略技術振興課科学技術政策主幹
理事	林 千鶴雄	非常勤	福島県商工労働部産業創出課長
理事	大淵 正和	非常勤	(一社)東北経済連合会常務理事 事務局長
監事	沼田 敏雄	非常勤	(株)インテリジェント・コスモス研究 機構 常勤監査役
監事	間庭 洋	非常勤	東北六県商工会議所連合会常任 幹事

## 評議員

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
評議員	尾坂 芳夫	非常勤	東北大学名誉教授
評議員	宮永 崇史	非常勤	弘前大学大学院理工学研究科長
評議員	船崎 健一	非常	岩手大学工学部長
評議員	金井 浩	非常勤	東北大学大学院工学研究科長
評議員	内田 龍男	非常勤	仙台高等専門学校長
評議員	石原 正	非常勤	福島大学共生システム理工学類 長
評議員	田邊 裕治	非常勤	新潟大学工学部長
評議員	沖沢 進	非常勤	青森県商工労働部新産業創造課 課長代理
評議員	犬飼 章	非常勤	宮城県経済商工観光部長
評議員	氏家 道也	非常勤	仙台市経済局長
評議員	今井 一	非常勤	秋田県企画振興部学術国際局長
評議員	渡辺 琢也	非常勤	新潟県産業労働観光部産業振興 課長
評議員	高玉 昌一	非常勤	(一社) 東北経済連合会常務理事

## 8 職員に関する事項

平成 26 年度末現在

職員数		前期末 比較数	平均年齢	平均勤続年数
男子 (常務理事が兼務する 事務局長)	1 名	0	64 歳 3 か月	4 年 0 月

## 9 許認可に関する事項

平成 20 年 12 月に施行された公益法人制度改革により、平成 25 年 3 月に内閣総理大臣から公益財団法人として認定され、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団として登記を行いました。

## II 事業の状況

### 1 事業の実施状況

平成 26 年度は、東北インテリジェント・コスモス構想の下に、東北地域の自然科学研究に対する助成、国際的研究交流に対する助成事業を実施するとともに、研究報告書評価委員会において平成 25 年度助成事業の研究実績評価を行い、有望シーズの発掘を目的として継続助成を実施しました。

また、財団ホームページの内容拡充を図ることにより、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進するとともに、「財団ニュース」を定期的に発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

#### (1) 自然科学研究に対する助成事業（定款第 4 条第 1 号）

##### ① インテリジェント・コスモス奨励賞への助成（@20 万円×10 テーマ）

東北 7 県の大学等の研究機関に所属している 40 歳(医歯薬系は 42 歳)以下の若手研究者を対象に、独創的研究開発の種（シーズ）を発掘するとともに、東北地域の活性化・発展に寄与するような研究を支援するため、下記 10 テーマに対して「インテリジェント・コスモス奨励賞」を授与し、併せて研究助成金を交付しました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
山形大学	理学部・物質生命化学科	准教授	並河 英紀	細胞選択的治療を目指した生理活性無機クラスタの創成
東北大学	大学院情報科学研究科	准教授	林 優一	電磁妨害による情報システムセキュリティ低下メカニズムの解明
福島県立医科大学	医学部附属生体情報伝達研究所	准教授	井上 直和	受精の膜融合メカニズムの解明
山形大学	大学院理工学研究科	助教	干場 隆志	タンパク質活性が高い培養基板上で作製した癌細胞由来細胞外マトリックスの抗癌剤スクリーニングへの応用
東北大学	東北大学医学系研究科・新医学領域創生分野	講師	鈴木 教郎	造血因子エリスロポエチンを産生する細胞の単離解析
東北大学	未来科学技術共同研究センター	准教授	鎌田 圭	新規 GAGG シンチレータを用いたサブミリ解像度 PET 検出器の開発
福島県立医科大学	医学部・微生物学講座	助教	生田 和史	新たな組換え DNA ウイルス株作成法を用いたサイトメガロウイルス臨床分離株の解析
東北大学	大学院工学研究科・応用化学専攻	准教授	亀田 知人	水環境保全・浄化への層間化合物の応用に関する研究
岩手大学	工学部	助教	西川 尚宏	水を加工液とする工作機械系の電気防錆加工システムの総合的開発
東北大学	大学院工学研究科金属フロンティア工学専攻	准教授	松八重 一代	リソースロジスティクスへのイノベーション戦略への適用

② 実用化研究への助成（@50万円×2テーマ）

東北地域における新産業創出の推進を図るため、平成25年度に行ったインテリジェント・コスモス奨励賞受賞者の研究実績報告書に基づき、実用化・事業化の観点から新事業創出の可能性があると認められる等の評価・調査を行い、評価が高いものに対し継続して助成を行いました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
東北大学	多元物質科学研究所	助教	有田 稔彦	リビングラジカル共重合法を用いた無機ナノ粒子の有機無機複合粒子化
東北大学	金属材料研究所	准教授	内田 健一	スピンゼーベック効果を用いた高効率熱エネルギー変換技術の開発

(2) 国際的研究交流に対する助成事業（定款第4条第2号）

国際学会への助成（@10万円×5件）

国際的研究交流を東北地域全域において促進し、科学技術の発展と独創的学問の進歩向上に資するため、東北地域における各種国際会議5テーマに対して助成しました。

催事名	主催者	開催期間
2014 Asia-Pacific Microwave Conference	東北大学 (実行委員長:末松 憲治) 末松 憲治 (東北大学電気通信研究所・教授)	平成26年11月4日(火) ～ 平成26年11月7日(金)
第26回有機金属化学国際会議 (ICOMC2014)ープレシンポジウム(仙台)	東北大学大学院理学研究科 東北大学 大学院理学研究科化学専攻 教授・飛田 博実	平成26年7月11日(金)
英文名: 11th Asian International Seminar on Atomic and Molecular Physics (AISAMP11) 和文名: 第11回アジア原子分子物理学国際セミナー	東北大学第11回 AISAMP 実行委員会 (多元物質科学研究所) 高橋正彦(代表)(東北大多元研・教授)	平成26年10月6日(月) ～ 平成26年10月10日(金)

第 11 回プロテインホスファターゼ国際カンファレンス (ICPP)	日本プロテインホスファターゼ研究会・宮城県立がんセンター研究所・東北大学 宮城県立がんセンター研究所部長, 東北大学連携大学院客員教授 島 礼	平成 26 年 11 月 12 日 (水) ～ 平成 26 年 11 月 14 日 (金)
Asian retina meeting 2014	東北大学 Asian retina meeting 2014 実行委員会 東北大学大学院医学系研究科眼科学分野 教授・中澤 徹	平成 26 年 9 月 14 日 (日) ～ 平成 26 年 9 月 15 日 (月)

### (3) その他の事業 (定款第 4 条第 3 号)

#### ホームページ等の充実

本公益財団法人の活動状況を広報し、事業活動の充実をしていくため、財団ホームページの充実を図り、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進しました。

また、「財団ニュース」を発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

## 2 重要な契約に関する事項

該当なし

## 3 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第 1 回理事会 平成 26 年 5 月 19 日	1 平成 25 年度事業報告 (案) について	原案どおり承認
	2 平成 25 年度収入・支出決算報告 (案) について	原案どおり承認
	3 平成 25 年度監事監査について	(報告事項)
	4 理事長及び常務理事の職務執行状況について	(報告事項)
	5 理事選任候補者について	(報告事項)
	6 研究報告書評価委員の異動について	(報告事項)
	7 評議員会の招集について	原案どおり承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第2回理事会 平成27年3月6日	1 インテリジェント・コスモス奨励賞等の選考について	(報告事項)
	2 平成26年度事業執行状況について	(報告事項)
	3 平成26年度予算執行状況について	(報告事項)
	4 理事長及び常務理事の職務執行状況について	(報告事項)
	5 平成27年度事業計画(案)について	原案どおり承認
	6 平成27年度収支予算(案)について	原案どおり承認
	7 選考委員会委員の選任について	原案どおり承認
	8 選研究報告書評価委員会委員の選任について	原案どおり承認

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回評議員会 平成26年6月12日	1 平成25年度事業報告(案)について	原案どおり承認
	2 平成25年度収入・支出決算報告(案)について	原案どおり承認
	3 理事の選任について	原案どおり承認
	4 評議員の選任について	原案どおり承認
	(報告事項)	
	1 平成26年度事業計画書について	
2 平成26年度収支予算書について		

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<p>第 1 回選考委員会 平成 26 年 6 月 27 日</p>	<p>報告事項 1 第 13 回インテリジェント・コスモス奨励賞授与式について 2 平成 25 年度実用化研究助成者の事業実績書について</p> <p>協議事項 1 第 14 回インテリジェント・コスモス奨励賞推薦要項等について</p>	<p>原案どおり承認</p>
<p>第 2 回選考委員会 平成 26 年 11 月 26 日</p>	<p>1 選 考 (1) インテリジェント・コスモス奨励賞についての選考 (2) 実用化研究助成についての選考</p> <p>2 協 議 (1) 国際学会への助成応募要項（案）について</p>	<p>11 件を決定 2 件を決定 原案どおり承認</p>
<p>第 3 回選考委員会 平成 27 年 2 月 9 日</p>	<p>1 選 考 (1) 国際的研 究交流に対する助成事業 国際学会助成の選考について</p> <p>2 協 議 (1) 平成 27 年度助成事業について (2) 第 14 回インテリジェント・コスモス奨励賞授与式等について</p>	<p>6 テーマを決定 前年度の事業継続を了承 授与式を平成 27 年 5 月 18 日ホテル・メトロポリタン仙台で実施する事務局案を了承</p>

(4) 研究報告書評価委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<p>1 研究報告書評価委員会 平成 26 年 7 月 29 日</p>	<p>1 研究報告書の評価及び実用化研究助成候補者の選考について 2 評価委員候補者について</p>	<p>候補者 2 名を決定 委員の辞任及び後任の候補者を了承</p>

#### 4 正味財産増減の状況及び財産の状況

単位：千円

	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期
経常収益合計	7,596	9,767	8,651	8,835	8,785
経常費用合計	9,529	7,390	8,931	8,793	8,610
当期正味財産増減額	-1,933	2,377	-280	42	175
資産合計	452,575	454,952	454,672	454,714	454,889
負債合計	0	0	0	0	0
正味財産	452,575	454,952	454,672	454,714	454,889

### Ⅲ 法人の課題

法人会計のスリム化等により財団運営資金を確保すること。

### Ⅳ 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するた

#### めの体制

現行の、監事による監査体制を継続実施すること。

### Ⅴ 株式保有している場合の概要

該当なし